

つくば市指定管理者実績評価表

所管課	こども部こども育成課
評価対象期間	令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日まで

1 施設の概要

施設概要	名称	つくば市立大曽根児童館及びつくば市立大曽根児童館放課後児童室			
	所在地	茨城県つくば市大曽根447-3			
	関係条例等	児童福祉法、つくば市立児童館及びつくば市立放課後児童室条例、つくば市立児童館及び放課後児童室条例施行規則、つくば市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例			
	設置目的	つくば市の児童の適切な遊び及び生活の場を与え、その健康を増進することとともに情緒を豊かにし、児童の健全な育成を図る。児童と地域の高齢者との世代交流、地域交流等の子育て支援の拠点施設を目指す。			
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 茨城YMCA			
	所在地	つくば市東新井24番地7			
指定管理業務の内容		1 施設の運営に関して行わなければならない業務(指定管理業務) ① 児童の遊びの指導を行う事業 ② 母親クラブ、子供会その他の児童の健全な育成に関する活動を行う地域組織を育成し、支援する事業 ③ 放課後児童健全育成事業(利用料の徴収等含む) ④ 児童と高齢者等との多世代交流事業 ⑤ 父母その他の保護者の子育てを支援する事業 ⑥ 地域交流事業 ⑦ 施設(筑穂館含む)利用許可等に関する業務 ⑧ 児童館施設及び物品の維持管理に関する業務 2 施設の維持管理に関して行わなければならない業務(指定管理業務) ① 建築物保守管理業務 ② 設備管理業務 ③ 清掃業務 ④ 保安警備業務			
指定期間		平成30年(2018年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日まで(5年間)			
総合評価(年度評価)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
	B	B	A	A	

管理運営実績データ

施設名 つくば市立大曽根児童館及びつくば市立大曽根児童館放課後児童室			
施設名	目標・計画等	実績	原因・指示・勧告等
利用者数 稼働率等	新型コロナウイルス感染症対策を継続し、前年実績を上回るよう、これまで中止してきたイベントの実施や、児童クラブ会員以外でも利用できることの広報活動を積極的に行い利用者数増加を図る。 令和3年度実績 述べ利用者数21,178人 【内訳】 幼児 507人 小学生 19,238人 中学生 4人 大人 1,429人	開館日数 256日 <u>のべ利用者数 24,278人</u> (R3年度比 +3,100人) 【内訳】()…前年度比 幼児 980人(+473人) 小学生 20,950人(+1,712人) 中学生 28人(+24人) 大人 2,320人(+891人) 地域団体の児童館・筑穂館利用回数 194回 (+40回) ※利用者に児童クラブ利用者も含む。	【イベントの開催】 感染症対策を継続しつつ、令和3年・令和4年に中止した自主事業のイベントを多数開催した。 【広報活動】 ・大曽根小学校へ協力依頼をし、学校連絡アプリで保護者へ児童館だよりを配信した。 ホームページで地域の方との共同活動を掲載し、児童クラブ会員以外でも施設利用できることを周知した。 以上の積極的な取り組みや、安心・安全な施設運営を行ったことにより前年度を大きく上回る利用者数となった。
自主事業 (講座・セミナー等)	○多世代交流 季節のイベント(年11回) お花見会、七夕まつり、ハロウィン、クリスマス会等 ○乳幼児親子イベント(年38回) 親子運動遊び、親子工作、親子英語教室等 ○小学生対象(年220回) なかよしかんまつり(児童館まつり)竹馬・一輪車検定、お泊り会、遊びの広場等	<u>実施回数270回(+20回)</u> <u>参加者数9399人(+1,222人)</u> ()…前年度比 ○多世代交流 回数:10回 参加者:778人 ○乳幼児親子イベント 回数:34回 参加者:166人 ○小学生対象 回数:226回 参加者:8455人 実施状況の詳細については実績報告書添付資料を参照	新型コロナウイルス感染症の影響により、親子クッキングや食育関係のイベントが中止となったが、過去2年間中止してきたなかよしかんまつり(児童館まつり)を開催し、300名以上の方の参加があり、地域の方や世代を超えた交流の場を設けることができた。 今後もこれまで中止にしていたイベント等を行うなど、活発な自主事業を行っていくよう伝えた。
アンケートの実施状況 (利用者の満足度、苦情等)	施設利用者の大半は同じ利用者(リピーター)であるため、年2回集中的に利用者アンケートを実施する。 (自由記述有) 利用者のニーズや不満点を聴取し、サービス向上に役立てる。	【実施方法】 紙のアンケート用紙を利用者に直接手渡しで記入依頼し、BOXにて回収。 【対象者】 ①児童クラブ員保護者 ②それ以外の利用者 【実施期間】 令和4年9月20日～10月18日 ①② 令和5年2月1日～2月28日 ② 令和5年2月20日～3月18日 ① 回答数156件 ○管理は行き届いているか 満足: 91.0% 普通: 9.0% 不満: 0.0% ○利用しやすいか 満足: 93.5% 普通: 6.5% 不満: 0% ○職員の対応 満足: 93.6% 普通: 5.8% 不満: 0.6%	施設利用者のアンケートでは、全ての項目で90%以上の方から「満足」との結果を得られており、かなり利用者満足度の高い運営をしている。 引き続きサービスの維持・向上に努めていくよう伝えた。
収支状況	収支予算 <u>○収入計 33,240,000円</u> 指定管理料:28,000,000円 クラブ利用料:4,460,000円 自主事業:544,000円 カラオケ使用料、その他:236,000円 <u>○支出計 33,240,000円</u> 人件費:18,840,000円 管理運営費:13,696,000円 自主事業費:544,000円 研修費:60,000円 予備費:20,000円	収支決算 <u>○収入計 33,144,908円</u> 指定管理料:28,000,000円 クラブ利用料:4,517,700円 自主事業:334,108円 カラオケ使用料、その他:293,100円 <u>○支出計 26,919,099円</u> 人件費:13,233,978円 管理運営費:13,483,645円 自主事業費:201,476円 (自主事業費…自主事業報告内の経費のほか運営経費を含む) <u>○収支差引額 6,225,809円</u>	節電節約をし、管理運営経費の縮減に努め、これからも適切な運営管理のための支出をするよう指示した。

2 評価結果

評 価 項 目		
(1) 管理状況		評 点
項目	視点	
①適切な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。(清掃、警備、保守点検、環境配慮等)	3
②適切な職員配置	職員配置は適切か。(有資格者等の配置)	2
③職員研修・人材育成	職員教育、育成は適切に行われたか。(就業規則、接遇等研修、法令、情報管理等)	2
④職員の労働環境	労働条件や労働環境は適正か。	2
⑤個人情報の取り扱い	個人情報保護及び情報公開は適切に行われたか。	2
⑥安全対策・事故防止対策	来館者の安全対策、事故防止策は適切であったか。	2
⑦危機管理体制	防犯及び防災、その他事故等緊急時の体制、対応は十分であったか。	2
【評価の理由】 ①毎日の清掃や保守点検を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策として利用者へ検温、手指消毒、マスク着用を依頼し、常時窓を開けての換気や遊具、玩具、備品等の除菌を徹底して行った。		
(2) 運営状況		評 点
項目	視点	
①平等利用の確保	平等・公平な利用に配慮されていたか。	2
②指定事業の実施	仕様書に指定された事業が計画通り実施されたか。	2
③自主事業の実施	事業者の創意工夫によるサービスの向上や利用促進策が予定通り図られたか。	3
④利用者意見の反映	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組がなされているか。	3
⑤意見・苦情等への対応	利用者からの苦情やトラブルに対し、適切に対応したか。	2
⑥利用者満足度	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。	3
⑦利用実績	利用者数・利用料金収入を増加する又は確保するための取組がなされているか。(導入前との比較、導入後の推移等)	3
⑧地域との関わり	市民のニーズを反映した取組がなされたか。 地域の住民や団体との連携が図られているか。 地元住民や地元業者の活用等、地域活性化に貢献しているか。	3
【評価の理由】 ③新型コロナウイルス感染症感染拡大の中であっても安易に事業開催を中止することなく、基本的な感染対策を利用者に周知徹底しつつ、過去2年間でできなかった児童館まつりの開催や、小学高学年生がイベントを企画運営するジュニアリーダーや子供たちといじめについて考えるピンクシャツデーなど独自のイベントやプログラムを企画・実施し、前年度以上の実績となった。 ④筑穂館利用者に人気のあったカラオケの機器が老朽化により使用していなかったことから、今後の利活用促進のため新しい機器を購入したことや、熱中症対策としてプレイルームの空調に加えてサーキュレーターを稼働させるなど、利用者の要望を反映しサービスの向上に努めた。 ⑥利用者アンケートのすべての項目で満足が90%以上という高い評価を得ている。 ⑦児童クラブ会員以外にもシルバークラブ、母親サークル、趣味サークルなどの施設利用が可能である旨をホームページに掲載したり、大曽根小学校と連携し、児童館だよりを学校連絡アプリで保護者へ配信してもらうなど、積極的に広報活動を行い、前年度を大きく上回る施設利用者数(前年度比+3,100人)となった。 ⑧前年度同様、地域で下校時の児童を見守る「くすのき隊」に参加したり、大穂地区子育て応援ネットワーク団体「くすのき会」の事務局となったりするなど、地域の協働に継続的かつ積極的に取り組む姿勢は指定事業以上の働きがある。(聞き取りより)		

2 評価結果

評 価 項 目			
(3) 収支状況			評 点
	項目	視点	
	①管理運営経費の節減	管理経費を縮減するため、効果的・効率的な執行がなされたか。	2
	②事業収支	収支計画は、計画どおり達成されたか。	2
【評価の理由】			
【総合評価】			
合計評点	40	評価ランク	A
【総評】 ※評価を踏まえ、翌年度の指導方針や、指定管理者制度の導入目的が達成されているかを記載する。			
令和4年度は指定管理者最終年度となり地域の交流拠点としての認知度も高まる中、多世代交流施設を含む児童館利用について、利用者増加に向けた積極的な取り組みや、自主事業の実施、新型コロナウイルス感染症対策の徹底など、高い意識をもって施設運営業務を遂行し、結果、利用者数が前年度比で大きく上回ったことや利用者アンケートの満足度で高い評価を受けており、施設運営業務全体について高く評価する。令和5年度も引き続き、利用者満足度の高い水準を維持しつつ、サービス向上に努めるよう指導していく。			

※添付書類

事業報告書(月別施設別利用者数一覧、月別施設別稼働率一覧、自主事業実績、利用者満足度調査(アンケート調査等)結果、苦情一覧、収支報告書等)、モニタリングチェックシート、労働環境確認シート

【評価の基準】

- 4: 目標や計画を大幅に上回るすばらしい成果があがったもの
- 3: 目標や計画を上回る成果があったもの
- 2: 目標や計画どおりの成果があったもの
- 1: 工夫や改善は認められるが、結果的に目標や計画を下回っており、さらなる努力が必要なものの
- 0: 目標や計画を下回っており、(所管部署の指導にもかかわらず、)工夫、改善が足りないもの

※ ただし、採点に当たっては、目標設定の度合いを考慮して行うことができる。

【総合評価の基準】

- S: 総合的に評価した結果、特に優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が49点以上)
- A: 総合的に評価した結果、優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が39～48点)
- B: 総合的に評価した結果、適正に運営されていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が30～38点)
- C: 総合的に評価した結果、さらなる努力が必要であると認められる
(合計点が18～29点、ただし、合計点が29点以上であっても0点の項目がある場合)
- D: 総合的に評価した結果、改善すべき点があると認められる
(合計点が17点以下)